

# 合理的意思決定の過程を重視した社会科学習

—第3学年「わたしたちの広島市—未来せつ計図をえがこう—」の実践を通して—

佐藤 健

## 1 はじめに

21世紀社会を間近に控え、社会の変化はますます加速化し複雑化されることが予想される。そのような社会において、未来社会を生きる子どもたちにどのような力が求められているのであろうか。今谷順重氏は、我が国の社会科教育の原点である「問題解決学習」を踏まえながら、子どもたちの個性的な自立・自己実現を多面的に支援していく「新しい問題解決学習」を提起する。そして、「新しい問題解決学習」のストラテジーとして11の学力キーコンセプトを示している<sup>1)</sup>。その中で、本研究と深く関わるものとして次の4つのキーコンセプトが注目される。

- ①人間に社会に地球に自ら主体的にかかわり働きかけていく力
- ⑤多様な観点からの創意・工夫による個性的で創造的な改善・改革の能力
- ⑨願い・価値の究明・明確化と創造・発展の能力
- ⑩自由で個性的で自立的な意志決定能力と積極的な提案・提言の能力

ここで指摘されている力は、「自立」をテーマとする本校社会科部の研究に示唆を与える。特に⑩の「意志決定能力」「提案・提言の能力」は、子どもたちが社会の問題に目を向け、自らの生き方を追究することにつながり、自立への第一歩を踏み出すことにつながる能力と言えよう。本稿では、第3学年「わたしたちの広島市—未来せつ計図をえがこう—」の単元を通して、主に合理的意思決定能力の育成を狙った実践について述べていく。

## 2 研究仮説と分析の視点

本研究の研究仮説は以下の通りである。

仮説	グリーンフェスタ会場の跡地利用の話し合いをする際、事前の調査活動の結果を活かす場を設定するならば、児童は自分なりの願いや思い大切にしながらも、より合理的に意思決定しようとするであろう。
----	--

また、授業実践の分析の視点は次の通りである。

分析の視点①；子どもたちはどのような事前の調査活動を行ったか。 分析の視点②；事前の調査活動が意思決定過程において有効に機能したか。
---

## 3 実践事例 第3学年「わたしたちの広島市—未来せつ計図をえがこう—」

### (1) 単元の概要

#### ① 単元について

本小単元は、単元「わたしたちの広島市」の発展的なまとめとして位置づく。ここでは、第14回都市緑化フェアとして開かれた、「グリーンフェスタひろしま'97」の跡地利用について考え合うことが中心となる。市のよりよい発展には、市民の願いが活かされていく必要がある。都市の中心部の広大な跡地をどう利用すればよいかを話し合うことで、根拠をもとに広島市の未来像を描いていくことをねらいとするものである。

本学級の児童は、社会科の学習に意欲的に取り組む。特に、調査活動や見学などの具体的な活動を好み、調べたことをもとに、自分なりの考えを述べることができる。指導にあたっては、自分た



広島の人たちがうなずく、グリーンフェスタ会場のあと地利用を考えよう。

- |  |  |
|--|--|
| <p>3 会場跡地の有効利用について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から〇〇が分かった。</li> <li>・家族に聞いてみると△△となった。</li> <li>・会場の人にインタビューしたら、□□が多かった。</li> </ul> <p>4 跡地利用について意思決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～だから〇〇がいいと思う。</li> <li>・…を聞いて、△△という考えに変わった。</li> </ul> <p>5 本時のまとめをする。</p> | <p>3 話し合いを深めることができるように次の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎前時の学習を活かし、「市民の声」に裏付けされた発言となるように助言する。また、新しい利用案を考えた場合、それも取り上げる。</li> </ul> <p>4 最終的な意思決定をする際、以下の点に留意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎話し合いをもとに、自分の考えをノートに書く時間を確保し、自分なりの根拠を明確にできるようにする。</li> <li>・意見の変わった児童には、その根拠が述べられるように助言する。</li> </ul> <p>5 次時以降は、それぞれの考えをポスター等にして発信していくことを確認する。</p> |
|--|--|

### (3) 本時以降の概要

第三次「広島市の未来せつ計図をえがこう」では、自分で決めた跡地利用最終案を自分なりの方法で表現することにした。教師から「市役所の係の方に、みんなの利用案を見ていただこう」と提案したため、子どもたちは「市役所の方に見ていただける」と意欲的に取り組んだ。子どもたちは、それぞれの利用案ごとにグループを作り、作業に取りかかった。多くの子どもたちは絵で表現したが、自分の方法にこだわり、作文で表現するものもいた。絵を描いた児童には、利用案の有効性を伝えるため、PR文を添付するよう促した。

市役所訪問の当日——代表の児童5名と本庁舎11階の企画調整室を訪れた。子どもたちは緊張しながらも、自分たち利用案をPRしたうえで、クラス全員の思いのこもった作品を届けることができた。そのことに、大きな喜びと充実感を感じていたようである。



「この箱は何か?」 「病院です。」

## 4 授業実践の分析と考察

### (1) 分析の視点①について

分析の視点①；子どもたちはどのような事前の調査活動を行ったか。

分析の視点①は次の通りであった。

本学級は自分の意見をはっきりと述べるができる児童が多く、討論の学習を好む。しかし、中学年によく見られるように、ともすれば持論を一方向的に主張するだけで、相手の意見を受け入れようとしなない場面が見られることも事実である。そこで、持論の正当性を明らかにするために、前時の1時間を「市民の声を調べよう」として設定した。子どもたちは各利用案ごとにグループを作り、それぞれの根拠集めに取りかかった。しかし、児童が集めた根拠のみで学習を展開することは、内容的な深まりが期待できないことにつながりかねない。そこで、教師の側から2点の資料<sup>2)</sup>を提示し、その資料も根拠として活用するように促した。

子どもたちが独自に行った調べ活動は以下の通りである（複数回答）。

パワーアップ	
○家族の人にインタビューした……………	15名
○グリーンフェスタ会場の人にインタビューした……………	6名
○先生の配った新聞、「GFを開いたわけ」、「遊創の杜」のパンフレットを使った……………	6名
○本でがんや「緑」のことを調べた……………	5名
○グリーンフェスタのニュースを録画した……………	2名
○近所の人にインタビューした……………	2名
○京都の温暖化会議のニュースを見た……………	1名
○保健所に電話して、がんのことを教えてもらった……………	1名
○タウンページで病院の数を調べた……………	1名
●あまりできなかった……………	2名

第3学年における調べ活動としては、決して十分なものとは言えない。そのことは、「あまり調べることができなかった」としている児童が2名いることから伺える。また、子どもたちがもっとも活用した資料は教師が用意した2点の資料であったことも事実である。

しかし、保健所に電話し、がんによる死亡者数を調べ発表したり、グリーンフェスタ関連のテレビニュースをビデオに録画し、根拠にしたりするなど、自分なりの方法にこだわった調べ活動を展開した児童がいたことは評価できよう。

(2) 分析の視点②について

分析の視点②：事前の調査活動が意思決定場面において有効に機能したか。

本時において、《学習活動3》が意思決定に至る事実の分析的検討の場面である。《学習活動3》の授業記録は以下の通りである（表中の「発」は発問）。

教師の働きかけ	児童の反応
<p>《学習活動3》</p> <p>○根拠の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この前配った資料やインタビューを活かして発表しましょう。</li> <li>・周りの人は、質問や反対意見がないか考えながら聞きましょう。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の意見の中に「命」が出てきました。これは「GFを開いたわけ」を理由にしたのですね。（カード添付）</li> <li>・前のグループは「緑」を出したね。</li> </ul>	<p>【そのままのこすグループ】</p> <p>P2 本に書いてあるんだけど、自然破壊が続いているそうです。</p> <p>P1 一人では何もできないけど、みんなで力を合わせれば自然破壊を防げます。</p> <p>P2 それで、緑を大切にしたいです。</p> <p>P35 自然がなくなると街がきたなくなります。</p> <p>P20 70%が緑なので…</p> <p>【きょう竜はく物館グループ】</p> <p>P3 広島市には博物館はなくて、広島市や県の人たちに恐竜のことを知ってもらいたいからです。</p> <p>【そのままのこす・動物園グループ】</p> <p>P29 資料「GFを開いたわけ」を見ると、「緑」「命」の尊さを伝えたいとあるので、そのままがいい。またニュースで「花を残してほしい」と言っていたし、戦争とかの時に「緑」が人々を勇気づけたからです。</p> <p>P21 動物園のわけは、絶滅しそうな動物がいるから大切にしたらいいと思います。</p> <p>【がんセンターグループ】</p> <p>P37 広島にはがんセンターがなくて、がんにかかった人は専門に治してもらえるからです。</p>

・今のグループは、保健所に電話したり、テレビのニュースを調べたりしたのですね。

・短い発表でしたが、とても分かりやすかったですね。

・このグループはたくさん理由を言ってくれました。これだけ出ると、先生も「なるほどな」とうなずいてしまいます。

・両方にわけて言ってくれました。

・出るとは思わなかったけど、日赤病院のことも考えたんだね。

○質問や反対意見

・今のみんなの意見を聞いていて、先生も迷ってしまいました。

発：質問や意見のある人は？

・【大型店】の人、答えられたらどうぞ。

発：【そのままのこす】に、質問や反対はありませんか？

発：【遊園地】はどう？

発：【恐竜博物館】はどう？

P36 がんは「悪性腫瘍」といって、体の中のどこでもできます。体中を破壊します。

P8 広島市保健所にかけて聞いたんだけど、平成7年に広島市でがんで亡くなった人は1286人。広島県では、市も合わせて6495人いるそうです。がんで死ぬ人はたくさんいるので、がんセンターがいいです。

P16 ニュースでやってたんだけど、千田町商店街の人がアンケートした中に、がんセンターがいいという人が7番目で、6人いました。

【遊園地グループ】

P31 会場で聞いてみると、5人中5人が遊園地がいいと言っていました。

P33 資料-2の◇を見てみると、広島市には遊園地がないからです。

【遊創の杜グループ】

P18 これ（パンフレット）が遊創の杜の設計図です。GFのメイン会場がここです。映像や芸術や文化の拠点があります。

P22 「アンケート」資料10, 14, 21が全部解決できます。

【大型店グループ】

P9 専門店が連なっていて便利で、子どもも遊べる。バス停も近くにあって便利で、しかも、近くに家がたくさんある。電車も近くを通っています。

P7 「アンケート」資料17に、「買い物に便利な街」というのがあります。

【学習センター・ゴルフ場グループ】

P10 もともと大学のあったところで、学習センターがあると、お母さんも調べたいことがたくさんあると言っていました。

P30 「アンケート」20に「スポーツの盛んな街」とあるし、ゴルフ場は広島には少ないからです。

【遊園地・病院】

P27 遊園地が広島はないから。資料-2の◇から、病院のベッドの数が少ないから。近くに日赤病院があっても、いつも混んでいるからです。

P16 【大型店】に質問なんだけど、今大型店がたくさんできていて、本通商店街もあぶないのに、また、大型店をつくと本通商店街がつぶれてしまうので、やめた方がいいのではありませんか？

P1 【そのまま・動物園】に反対なんだけど、空気が悪いのでやめた方がいいです。

P21 空気が汚いのなら人間が汚しているのだから、人間が気をつけたらいいんじゃないですか。

P5 【遊園地・病院】に反対なんだけど、遊園地があったら、病院の人がゆっくりできないのでは？

多数：ありません。

P2 【遊園地】に反対なんだけど、市には遊園地がないと言っても、県には呉などにあります。

P22 【恐竜博物館】に反対なんだけど、恐竜とかの化石とかはどうやって見つけるんですか？

<p>発：【学習センター・ゴルフ場】は？</p> <p>・組み合わせが悪いのかな？</p> <p>発：【遊創の杜】についてはどうですか？</p> <p>発：【がんセンター】はどう？</p>	<p>P3 P22に答えるんだけど、昨日図書室に行くと、恐竜の本があって、ちゃんと調べました。</p> <p>P21 【学習センター・ゴルフ場】に質問なんだけど、学習している人に、ボールの音がしたりして、うるさいんじゃないですか？</p> <p>多数；そうそう。</p> <p>多数；ありません。</p> <p>P1 【がんセンター】に反対なんだけど、市で1年間に1286人亡くなっているけど、新しい赤ちゃんが誕生しているのではないですか？</p> <p>P8 今では亡くなっている人はもっと多くなっているかもしれませんが。それに、赤ちゃんはそうぼんぼん産まれるものではないと思います。</p> <p>多数；ざわざわ！</p>
--	---

本小単元の導入時における児童のグリーンフェスタ跡地利用の一次案は〈表-1〉の通りである。単元の導入での案ということもあり、「ゲームセンター」「自分のお城」のように有効な利用案としては説得力に欠けたり、自己中心的であったりするものも見られた。また、子どもの思いが強く出ていたため、計21案というかなり多くの一次案が提案された。このまま話し合いに入るとは効率的ではない。そこで、案の絞り込みを行うことにした。

〈表-1；GF跡地利用一次案〉

○そのままのこす……………5	○遊園地にする……………3	○緑のはく物館……………3
○大型店（デパート）………2	○家（マンション）………1	○きょう竜はく物館……………1
○自分のおしろ……………1		
○（A；公園……………3 B；大型店……………3	○（A；遊園地……………2 B；公園……………2	○（A；大型店（デパート）…2 B；はく物館……………2
○（A；そのままのこす…2 B；動物園……………2	○（A；ホテル（レストラン）…2 B；遊園地……………2	○（A；遊園地（ゲームセンター）…1 B；はく物館・野球場・大型店……………1
○（A；公園……………1 B；ゴルフ場……………1	○（A；学習センター……………1 B；ゴルフ場……………1	○（A；ホテル……………1 B；大型店……………1
○（A；遊園地……………1 B；病院……………1	○（A；ホテル……………1 B；レストラン……………1	○（A；そのままのこす…1 B；ゲームセンター……………1
○（A；緑のはく物館………1 B；未来の何か……………1	○（A；レストラン……………1 B；本屋……………1	

※ ここでのA、Bは、グリーンフェスタ会場で跡地利用が問題となっている、A；北側約2㍍とB；南側約5㍍の利用について個別の案を出したものである。

本時に至るまでに絞り込まれた二次案は〈表-2〉の通りである。事前の話し合いによって、21案から9案へと精選された。前項で述べた「根拠付け」は、この二次案をもとに行ったものである。

〈表-2；GF跡地利用二次案〉

◎【そのままのこす】……………12	◎【がんセンター】……………5
◎【遊園地】……………5	◎【遊創の杜】……………3
◎【A；そのままのこす，B；動物園】…3	◎【A；遊園地，B；病院】……………2
◎【A；学習センター，B；ゴルフ場】…2	◎【大型店】……………2
◎【きょう竜はく物館】……………2	

〈表-3 ; G F跡地利用最終案〉

●【そのままのこす】	14
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑を大切にしたい。 ・温だん化をふせげる。 ・みんながよろこぶ。</li> <li>・緑はさんそをつくる。 ・原ばくのやけ野原から緑がみんなを勇気づけた。</li> <li>・緑は「命」のシンボル。 ・そのまま、大学のたて物ものこすといい。</li> <li>・交通が便利で、みんなすぐ来ることができる。 ・「国際・平和・文化」にふさわしい。</li> <li>・高山植物などのめずらしい植物をしょうかいするといい。 ・お金がかからない。</li> </ul>	
●【がんセンター（子ども病院）】	13
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の中心で、交通の便がよい。 ・テレビのニュースでがんセンターがあった。</li> <li>・がんでなくなる人が多く、1年間に市で1286人、県では市も合わせて6495人もいる。</li> <li>・おじいちゃんががんで亡くなった。 ・近くの日赤病院はいつも込んでいる。</li> <li>・子ども病院だと、子どももその親も安心。 ・アンケートの第1位。</li> </ul>	
●【A；遊園地，B；病院】	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年よりや車いすの人も楽しめるよにする。 ・病気の人も元気になる。</li> <li>・広島の人たちは、「医療・福祉」のゆきとどいた街をねがっている。</li> </ul>	
●【大型店】	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが楽しめる。 ・大学（夜間）の人たちもすぐに行くことができる。</li> <li>・交通が便利である。 ・近くに家がたくさんあって歩いても行けて便利。</li> </ul>	
●【遊創の杜】	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平和」「文化」を大切にできる。 ・原ばくの映像をたくさんそろえる。</li> <li>・いろんなしせつがあって、みんなが喜ぶ。</li> </ul>	
●【A；きょう竜はく物館，B；病院】	1
<ul style="list-style-type: none"> <li>・きょう竜のことをみんなに知ってもらいたい。 ・市にはく物館がない。</li> <li>・病院と組み合わせるとみんなが助かる。</li> </ul>	

本時の学習を通してに児童が決定した最終案は〈表-3〉に示した通りである。精選された二次案をさらに検討することとなったため、それぞれの最終案は、子どもたちなりの調べ活動がその根拠となり、かなり説得力のあるものが見られるようになっている。〈表-1〉と〈表-3〉を比較すると、利用案が厳選されていることが分かる。特に、「国際平和文化都市」を目指す広島市民の一員として、「国際」「平和」「文化」に視点をあてた意見、さらには、グリーンフェスタ開催の理念である、「緑」「命」に言及したものも見られた。

また、本時の実践結果として〈表-2〉と〈表-3〉を比較すると、跡地利用として、【そのままのこす】14名、【がんセンター】13名となり、クラス全体の3分の2という高い数値となっている。この2つの利用案は、コンセンサスを得ているもので、子どもたちの判断が質的に高まったことを示している。また、子どもたち素朴な願いが強く反映していた【遊園地】という意見の児童5名は、【がんセンター】3名、【そのままのこす】1名、【大型店】1名へと、それぞれの決定を変更している。【そのままのこす・動物園】を主張していた児童3名も、同じように【がんセンター】に決定を変更している。

さらに、恐竜に関心を持ち、【きょう竜はく物館】にこだわった児童は、実践を通して【きょう竜はく物館・病院】へと決定を変更した。この児童はその理由として、「町の人のためにがんをたすけるためです」「全国でもがんでたおれている人がいるからです」の2点を挙げている。

以上のことから、事前の調査活動が意思決定過程において有効に機能したと言えよう。

【遊園地】から【がんセンター】に決定を変更した児童のノートを掲載する。

〈実践前〉

〈実践後〉

遊園地

(わけ)・みんなが来るから  
 ・広島市にはないから  
 ・遊園地の人はお金がもうかる

④ どんな遊園地にしたいか

・大人から子どもまで遊べる遊園地  
 ・おもしろい  
 ・楽しい  
 ・プールもある  
 ・冬はおんせんつきタオルもつくしとまれる。れいぞうこには、飲みものがある。テレビもある  
 ・入場料が安い  
 ・くだものど、さり

中め。どうや遊園地のこと考えるんじめ、  
 さあ、この意見に、みんなは、とんせいかん?

病院(がんセンター)

(わけ)・5年前におじいちゃんが、  
 がんて死んだから病院をつ  
 くるほどくったらいいと思う  
 ぶんかけす  
 ・市にはがんセンターがない  
 ・がんていろいろなが死んで  
 いるから10人でも長生き  
 してほしい  
 ・みんながいきいき多くの人  
 がするようにしてほしい  
 ・おじいさんやおばあさんに  
 すこしでも多くの思もい出  
 につく、てほしい  
 ・アンケート①・2位だから

→

アンケートNo.2  
 に目をつけてね。

「医師のふくしの中では、た街  
 が市民の一番の心が、今のです。

## 5 おわりに

本稿は、グリーンフェスタ会場の跡地利用を考えることを通して、合理的な意思決定能力の育成をねらったものである。事前の調査活動を取り入れたことである程度の成果をあげることができた。しかし、第3学年の実践ということも考慮しても、その調査活動自体は満足できるものではない。児童の主体的な調べ活動を保障する支援のあり方について、さらに研究を重ねていきたい。

また、今回の意思決定過程では、「未来予測」<sup>3)</sup>の場面をあえてはずして実践した。小学校第3学年の児童にとっては、「未来予測」を取り入れることはやや難しいと考えたからである。そこで、本実践では、意思決定に至る判断材料として、「根拠付け」を重視した展開とした。その点についての成果は述べてきたつもりであるが、「未来予測」を省いた有効性についてまでは言及することができていない。今後は、実践を通してこの点について明らかにしていきたい。

### 〈引用文献および注〉

- 1) 「新しい問題解決学習における学力のキーコンセプト・活動のキーワード」については、今谷順重、「新しい問題解決学習と社会科の授業設計」、明治図書、1996、pp.32-59.に詳しい。
- 2) ここで活用した「資料-1」は、広島市企画調整局企画課、「ひろしま市民の暮らしと意識」を引用し、やさしく直したもの。「資料-2」は、広島市企画調整局情報統計課、「広島市統計書平成7年度版」をもとに、札幌、仙台、広島、福岡、大阪、東京各都市の、デパートの店舗数、一人当たり公園の広さ、図書館蔵書数、大学・短大の数、病院のベット数、博物館及び遊園地の7項目をグラフ化したものである。
- 3) 価値分析過程における「未来予測」の有効性については、岩田一彦、「小学校社会科の授業分析」、東京書籍、1993、pp.96-99.を参照されたい。